皆さまおはようございます！

本日12月20日火曜日　朝礼を担当いたします。AIロボット支援室のダッシュソウジャンヤと申します。まずは1年目スピーチです。

本日のFstyleはAdventureship、変化を原動力に

楽しくなければ仕事じゃないです。

目の前の仕事に一所懸命に取り組むことで、日々少しずつでも

成長し仕事がうまくできるようになります。

うまくできるようになってはじめて仕事の本当の面白みを

実感できるのは成長と成果が直結してくれるからなのです

コンサルティングは成果を出すたのしさを味わうことのできる仕事です

成果を出す楽しさを成長に結びつけながら働いていこう

船井総研に入社してからもう２か月立ちました。

大学2年生からずっとAIという技術の魔法に興味を持ち

機械学習を使いながらさまざまなプロジェクトに取り組みました。

それがきっかけでAI・ロボット支援室に配属されましたが、大学の研究とコンサルタントとしての仕事は異なるということを知りました。

学問的知識と実践的知識には、現実として大きなギャップがありました。論文書くときはほとんどの場合、自分の好きなトピックについて書きますが、それが誰かの役に立つかどうかはまだわかりません。

一方で、コンサルタントは、それらの学問的知識を実践的知識に変え、ソリューションを作り出すことで成果を出すことができます。

AIは働く人々の役に立ってきました。

例えば製造業では、これまでは検査をする人が不良品を分別していましたが、小さな傷(kizu)やへこみは肉眼では見えないため、検査ミスが多くありました。それを防ぐため、画像処理技術で製品をScanし、不良品をバッチから自動分別できるようになりました。これは素晴らしいことです。

最近、ある支援先に同行させていただいたのですが、先輩が自ら工数取得ツールUIを作成し、現場に導入するようすを見学し、本当に感動しました。私もいつか、自分のAIやアジュールクラウドソリューションを開発し、製造業だけではなくできるだけ多くの業界に採用されるようになりたいです。

アジュールというクラウドサービスのツールの一つにPowerBIというものがあります。

以前私がインターンをしていた時、そのPowerBIというツールを使って予算を予測し可視化するという仕事を経験しました。

今回アジュール化のメンバーとして、そのインターンシップ経験を活かして、データの視覚化手法を最適化するように動力します。

今後は、自分でPoC（簡単に言えばビジネスで実現可能なアイデア）を作り、それによる成果を出したいと考えています。そのためにも、今は目の前の仕事に一生懸命、楽しく取り組んでいきたいです。